



営む雑貨屋で
バイトを
募集してきた
高杉くん

ずっと好き
だったから
いまの関係が
始まったとき
嬉しかった

ねえ高杉くん
…ここ
いいかな？

ははいっ
…上手く
できるかな

えっ

最初は緊張したけど
彼を独占して
過激に攻めたい想いが
だんだんと
強くなってきた…

うん

あああああ

あ、うん

うん

うん

うん

うん



こんどは
わたしが
上になるね

ええ?

ええ?

ええ?

ええ?

ええ?

ええ?

ええ?

ええ?

ええ?

ええ?



わかなさん
寝てる間に
なんでボクを
縛ったんですか

ごめんね
高杉くんが
かわいくて
我慢できな
かったの

逃げたり
しませんから
自由にして
くださいっ

ダメよ
これからいっぱい
可愛がってあげる



『手コキしても寸止めで
射精させない』

イクッ!!

だめよ

ギョ

ドキ

イキたい?

でも
ダメ

ドキ

私だけの
モノに
したい...♡

ん

あめめめめ

ビク
ビク

ダラ...



『洗ってないアソコを
ひたすらクンニさせる』

むちっ♡

甘い♡
おっぱい



高杉くんの顔に
私のミートミート♡
挿し込むの♡
興奮♡

ムチュ♡

濃厚な二オイに興奮して
勃起するだけで射精する
ようになった高杉くん



成長した
わがまま

